

調査項目「公園の在り方」

1. はじめに

国の補助金を活用して、令和2年に策定された箕面市公園施設長寿命化計画に基づき、幼児から高齢者まで幅広い世代が楽しめるように、今までにない健康遊具やインクルーシブ遊具の導入等の公園整備や、可能な範囲でのトイレや園路等のバリアフリー化など新しい整備を実施している。55公園のうち、14公園の整備が完了（令和7年度9月末時点）しているが、従来の公園の環境的役割や社会的役割、健康増進などに加え、障害の有無や年齢、性別、国籍などを問わず、すべての人が楽しく遊び、憩えるインクルーシブ公園など、新しい視点での整備や遊具のトレンドといった更なるニーズを把握し、これからの公園整備に生かすことを目指し、「公園の在り方」をテーマに調査・研究活動を実施した。

2 調査経過

日 時	活 動	概 要
R 6. 11. 20 R 6. 11. 21	視 察	・佐賀県武雄市 きたがた四季の丘公園におけるインクルーシブ遊具の整備について ・佐賀県神埼市 日の隈公園キッズパークの整備について
R 7. 4. 18	分野別意見交換会	「公園遊具のトレンドについて」、「安全管理・維持管理について」をテーマに公園遊具メーカー2社と意見交換
R 7. 5. 10	地域別意見交換会	市内3箇所にて開催 「公園の在り方」をテーマにグループディスカッション形式で意見交換

3. 調査報告

視察に行った神埼市の日の隈公園では、九州初のインクルーシブ公園ということもあり、`「インクルーシブ」とは、といったわかりやすい説明がされた看板や、すべてひらがなの表記の看板などがあり、誰にでもやさしい表記などは`箕面市でも必要なもの、との認識を、市とともに持てたように思う。

武雄市では、神埼市の日の隈公園を参考にされ、合理的配慮などのさらなる配慮が進められていた。例えばインクルーシブ遊具の設置によって自動車で遊びに来る利用者の増加を受けて、駐車場を追加設置し、またトイレも遊具の近くに設置するといった動線の配慮とともに「みんなのトイレ」として誰もが使えるようにリニューアルするに至ったこと、公園で遊ぶ子どもをそばで見守る保護者などのための日よけのあ

る場所やベンチの設置など、実際に目で見て、歩いて、遊具で遊んでみて、必要な整備を進めていった配慮の経過を学べたことが、大変参考になった。また整備して終わりではなく、その整備が安全点検のみならず、維持管理も徹底されていることが伺えたのもよかった。

その安全点検や維持管理については、分野別意見交換会で遊具メーカー２社に来ていただいた際に、他社の遊具であってもできる限り安全点検を引き受け、公園の安全を守るという役割を全うされていることを知った。公園リニューアルをこれからも進めていくにあたり、昭和に設置した遊具の劣化や更新の在り方、新しく導入する遊具についても、①安全点検と維持管理、②点検される方が修繕の提案が確実にできるといった安全のためのサイクルを確立することの重要性を教授いただき、引き続きリニューアルを進める中でとても勉強になる内容を視察、意見交換させていただけた。

4. おわりに

公園は災害時の資機材等を備蓄をしている場所も多く、また避難所としての整備なども必要とされるなど多くの役割を果たしている。今までにない健康遊具やインクルーシブ遊具などの導入も進められており、箕面市の公園が箕面市公園施設長寿命化計画に基づいてリニューアルを進めるにあたって、本委員会の調査活動等を生かし、さらに市民の皆さんに喜ばれ、活用いただける公園になるよう、年間テーマに掲げた調査研究を終えた後も、計画にあがっていない公園についても更新が図られる必要を感じるなど課題はあり、引き続き、市議会としてより市民の視点での提案など動いていきたい。